

令和4年度 「志」特別選抜 工学部応用化学科

○試験区分及び選抜方法の変更

■最終選抜

【変更後】

試験区分	実施時間
化学演習・発表資料作成	9:30-11:30
化学演習発表および口頭試問	13:00-16:00

選抜方法	選抜内容
化学演習・発表 資料作成	英文等で書かれた化学に関する資料を読み、問題に解答し、また関連する内容について日本語による口頭発表用資料作成をしていただきます。これらを通して「知識・技能」「思考力・表現力」「主体性」を評価します。
口頭試問	口頭試問は個人単位で行います。作成した資料を基に発表していただき、筆記試験内容および学びたい専門分野に関する工学的な内容について口頭試問を行います。この口頭試問には、第1次選抜のレポート・総合問題の内容を含むこともあります。これらを通して「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

【変更前】

試験区分	実施時間
化学演習	9:30-11:00
化学演習発表用資料作成	12:30-13:30
化学演習発表および口頭試問	13:30-16:00

選抜方法	選抜内容
化学演習・発表	英文で書かれた化学に関する資料を読み、問題を解答し、またその内容について日本語による口頭発表及び質疑応答を行い、「知識・技能」「思考力・表現力」「主体性」を評価します。
口頭試問	口頭試問は個人単位で行い、学びたい専門分野について工学的な内容を含む質疑応答を行いますが、第1次選抜のレポート・総合問題の内容を含むこともあり「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

令和4年度 海洋政策科学部 「志」特別選抜の選抜方法について

1. 募集人員について

【新規募集】

海洋政策科学部	海洋政策科学科	海洋基礎科学領域	5人
		海洋応用科学領域	
		海洋ガバナンス領域	
		海技ライセンスコース 航海学領域	10人
		海技ライセンスコース 機関学領域	

【廃止】

海事科学部	グローバル輸送科学科	航海マネジメントコース	10人
		ロジスティクスコース	2人
	海洋安全システム科学科		3人

2. アドミッション・ポリシーについて

【神戸大学が求める学生像】

神戸大学は、世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として、国際的で先端的な研究・教育の拠点になることを目指しています。

これまで人類が築いてきた学問を継承するとともに、不断の努力を傾注して新しい知を創造し、人類社会の発展に貢献しようとする次のような学生を求めています。

1. 進取の気性に富み、人間と自然を愛する学生

〔求める要素：思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲〕

2. 旺盛な学習意欲を持ち、新しい課題に積極的に取り組もうとする学生

〔求める要素：知識・技能、主体性・協働性、関心・意欲〕

3. 常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持った学生

〔求める要素：主体性・協働性、関心・意欲〕

4. コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重する学生

〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性〕

【海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域】

海洋政策科学部海洋政策科学科の海洋基礎科学領域、海洋応用科学領域及び海洋ガバナンス領域は、海洋リテラシーを含めた広範な教養知識及び自然科学、科学技術、社会科学の専門知識を持った海のグローバルリーダー及びエキスパートとして国際海事社会の中で活躍できる人材を育成します。特に、本専門領域での学びを志望する学生には、将来の我が国の海洋政策や技術推進の先頭に立って海洋社会を牽引する高い能力が必要です。したがって、海洋に関する強い興味や自然科学、科学技術、社会科学に関する勉学への意欲に満ち、様々な課題の抽出と解決を楽しみながら全うできる精神力を持ち、判断力、行動力、及び協働性に優れた学生が求められます。そのため、「志」特別選抜では、特に本学部のアドミッション・ポリシーに沿ってより具体性を持たせた次のような学生を求める。

(1) 海洋に関する自然科学、科学技術、地球規模の物流・輸送や企業マネジメント、海洋に関する国際ルールに興味がある学生

〔求める要素: 関心・意欲〕

(2) 豊かな教養と高い倫理性、品格、豊かな感性を身につけ、海のグローバルリーダー及びエキスパートとして海事・海洋社会で活躍したい強い意思を持つ学生

〔求める要素: 知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性〕

(3) 自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生

〔求める要素: 思考力・判断力・表現力、主体性・協働性〕

(4) 多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生

〔求める要素: 知識・技能、思考力・判断力・表現力、関心・意欲〕

【海技ライセンスコース 航海学領域・機関学領域】

海洋政策科学部海洋政策科学科の海技ライセンスコースは、海洋リテラシーを含めた広範な教養知識及び船舶職員に求められる能力を基礎として、海のグローバルリーダー及びエキスパートとして国際海事社会の中で活躍できる人材を育てるこことを目指しています。特に、本コースを志望する学生には、海技士ライセンスを得るのに必要な船舶・運航に関する実践的な知識・技術・手法を高いレベルで修得することが求められます。したがって、船舶に対する興味やマネジメントに関する勉学への意欲を持ち、長期の船舶実習を楽しみながら全うできる精神力を持ち、判断力、行動力、及び協働性に優れた学生が求められます。そのために、本コースの「志」特別選抜では、特に本学部のアドミッション・ポリシーに沿ってより具体性を持たせた次のような学生を求める。

- (1) 海技士ライセンス（航海・機関）資格の取得とともに、地球規模の物流・輸送や企業マネジメント、海洋に関する国際ルールに興味がある学生
〔求める要素：関心・意欲〕
- (2) 豊かな教養と高い倫理性、品格、豊かな感性を身につけ、海のグローバルリーダー及びエキスパートとして海事・海洋社会で活躍したい強い意思を持つ学生
〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性〕
- (3) 自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力、主体性・協働性〕
- (4) 多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、関心・意欲〕

3. 選抜方法について

選抜方法	<p>以下の第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。</p> <p>【海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域】</p> <p>第1次選抜</p> <p><u>理系科目重視型</u>：「書類審査」「模擬講義・レポート(理系) 「総合問題(理系)」</p> <p><u>文系科目重視型</u>：「書類審査」「模擬講義・レポート(文系) 「総合問題(文系)」</p> <p>最終選抜</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、共通の「模擬実習・面接・口頭試問」を実施します。</p> <p>【海技ライセンスコース 航海学領域・機関学領域】</p> <p>第1次選抜</p> <p><u>理系科目重視型</u>：「書類審査」「模擬講義・レポート(理系) 「総合問題(理系)」</p> <p><u>文系科目重視型</u>：「書類審査」「模擬講義・レポート(文系) 「総合問題(文系)」</p> <p>最終選抜</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、共通の「模擬実習・面接・口頭試問」を実施します。</p>
------	--

4. 配点について

【海洋基礎科学領域・海洋応用科学領域・海洋ガバナンス領域】

選抜段階	内容	配点
	書類審査	50 点

第1次選抜 (理系科目重視型)	模擬講義・レポート（理系）	75点
	総合問題（理系）	175点
	合否判定	300点
第1次選抜 (文系科目重視型)	書類審査	50点
	模擬講義・レポート（文系）	75点
	総合問題（文系）	175点
	合否判定	300点
最終選抜	模擬実習、面接・口頭試問	300点
	合否判定	300点

【海技ライセンスコース 航海学領域・機関学領域】

選抜段階	内容	配点
第1次選抜 (理系科目重視型)	書類審査	50点
	模擬講義・レポート（理系）	75点
	総合問題（理系）	175点
	合否判定	300点
第1次選抜 (文系科目重視型)	書類審査	50点
	模擬講義・レポート（文系）	75点
	総合問題（文系）	175点
	合否判定	300点
最終選抜	模擬実習、面接・口頭試問	300点
	合否判定	300点